

# 平成30年度 事業計画案

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

法人化40周年を一つの節目としつつも、加盟する事業所の繁栄に寄与する業界団体として、その歩みを留めることはできない。我々を取り巻く環境は常に変化している。戦後の復興期を過ぎ100万戸から150万戸の戸数が40年余り続いた我が国の住宅着工も、2008年を過ぎてからは100万戸を割り込む低迷が続き2025年には60万戸台との予測すらある。傘下事業所が安定した経営のもと、業容の拡大を進めるためには全瓦連の活動も、変化する社会情勢に応じ活動内容の見直しと運営の効率化を一層推進しなければならない。

公に認定された唯一の業界団体として、コンプライアンスの遵守を徹底し、広く社会から信頼され、一般社団法人加盟店であることに誇りをもって、各々の事業所が業務の邁進に資することのできる事業展開でありたいと願う。

## 主な事業計画案

### 1、指導委員会

- 1) 全瓦連の中長期目標・経営計画の策定
- 2) 29年度作成「陳情活動のあらまし」を有効活用し、瓦屋根のランニングコストの優位性を前面に押し出した陳情活動推進の働きかけ
- 3) WEBマーケティングの活用法及びIT講習会の開催推進

### 2、技術委員会

- 1) 災害時における技術的な行動指針の研究、策定
- 2) 各単組・各ブロックによる技術的な研究活動の情報交流の推進

### 3、安全対策委員会

- 1) 「ヒヤリハットから学ぶ安全対策」冊子の活用推進
- 2) 全瓦連保険制度の拡充と加入促進活動の推進
- 3) 全瓦連 安全カレンダーの作成

### 4、PR委員会

- 1) 全瓦連の社会的・対外的広報活動の推進
- 2) 瓦屋根及び加盟店事業所の優位性の社会的広報活動